ともに挑む。ともに実る。
MIZUHO みずほ銀行

2025 年 5 月 2 日

The Emerging Markets Weekly

米国の関税政策への緩和期待が支援材料に

国際為替部
シニアマーケット・エコノミスト
堀　尭大
03-3242-7065
takahiro.hori@mizuho-bk.co.jp

マーケット・エコノミスト
長谷川　久悟
03-3242-7065
kyugo.hasegawa@mizuho-bk.co.jp

大島　由喜
03-3242-7065
yuki.ooshima@mizuho-bk.co.jp

欧州資金部
シニア為替ストラテジスト
中島　將行
masayuki.nakajima@mizuhoemea.com

新興国市場: 先週末 4 月 25 日のアジア時間は、中国が対米報復関税 125%から一部の商品を適用除外する検討をしているとの報道が一部の新興国通貨の支えとなった。PHP が上昇する一方、KRW は下落した。欧米時間、米中貿易摩擦の緩和への期待からドルが買われ、東欧通貨は大半が軟調。中南米通貨は堅調な株式市場が支えとなった。RUB や MXN が値を伸ばした。週初 28 日、新規材料に欠くなか、まちまちな動き。THB が売られたが、INR は上昇。欧米時間、米金利の低下が支援材料となり、ZAR が前日比+1.0%値を伸ばした。片や、MXN は前日から反落した。29 日アジア時間は前日からの流れが続き底堅い動き。MYR、THB、TWD が上昇。欧米時間、米経済指標の市場予想下振れを背景にドルが下落、新興国通貨は買われた。RUB や BRL が値を伸ばした。30 日アジア時間、トランプ米大統領が自動車関税の軽減措置に署名したことを背景に、今後の関税緩和への期待が支えとなり概ね上昇した。IDR は前日比+1.0%、INR や KRW も堅調な動き。欧米時間、米 1～3 月実質 GDP 成長率が市場予想を下振れドルは一時的に軟化するも反発。新興国通貨は反落した。BRL の下落が目立った。5 月 1 日アジア時間は多くの市場が休場のため目立った動きはなかった。欧米時間、米 4 月 ISM 製造業景況感指数の結果後、米金利が上昇。引き続き多くの市場が休場のなか米金利の動きを受けて下押しされるも小幅な下落にとどまった。

アジア: パキスタンのアシフ国防相はカシミール地方で 4 月 22 日に起きた観光客襲撃事件を受けて、インドによるパキスタンへの軍事侵攻が迫っていると述べ、両国の対立は一段と悪化した。ベッセント米財務長官は 29 日、韓国との通商交渉について合意案がまとまりつつあると述べた。30 日発表の中国 4 月製造業購買担当者景気指数(PMI)は受注・生産が減速したことを受けて 49.0 と前月から低下し、景気拡大・縮小の分け目となる 50 を 3 か月ぶりに下回った。一方で、非製造業 PMI は 50.4 と前月から低下するも 50 を上回った。同日、タイ中央銀行(BOT)は政策金利を▲25bp 引き下げ 1.75%にすることを決定。利下げは 2 会合連続。BOT は米関税政策による景気悪化を織り込み、2025 年の経済成長率見通しを+2.5%から+2.0%に引き下げた。同日発表の台湾 1～3 月期実質 GDP 成長率は前年比+5.37%と市場予想(同+3.60%)を大きく上回った。関税強化前の駆け込み輸出が GDP 押し上げに寄与した格好だ。

中東欧・アフリカ: ロシア中央銀行(CBR)は 4 月 25 日に政策金利を市場予想通り 21.00%に 4 会合連続で据え置いた。先行きの金融政策に関しては、CBR は 2026 年にインフレ率を目標に戻すために必要な限り金融引き締めを維持する方針を示し、声明文では金融引き締めが長い間続くことが言及された。

ラテンアメリカ: 4 月 30 日公表のメキシコ 1～3 月期実質 GDP 成長率は前年比+0.8%と 2024 年 10～12 月期から加速し、市場予想(同+0.7%)を上回った。

お客さま各位

ここではレポートの一部をご紹介
しています。
レポート全ページをご希望の方は、
お取引いただいているみずほ銀行の
お取扱店、またはお取引担当部まで
お問い合わせください。

以 上